



2022年6月30日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木 哲也  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 管理部 部長 寺本 直樹  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

## 改善計画書の策定方針に関するお知らせ

当社は、2022年6月15日付「特設注意市場銘柄の指定に関するお知らせ」にて公表のとおり、株式会社東京証券取引所（以下、「東京証券取引所」といいます。）より当社の内部管理体制等について改善の必要性が高いと認められたことから、特設注意市場銘柄に指定され、今後、東京証券取引所において当社に対する内部管理体制等の審査が行われます。当社は、内部管理体制等の問題を抜本的に改善するための改善計画を策定することとし、その改善計画の策定及び改善計画書の提出に向けての方針を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 改善計画書の策定方針

当社は、2021年6月21日付「第三者委員会の最終調査報告書公表及び役員報酬の減額に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり（なお、当該日をもって公表いたしました第三者委員会調査につき以下、「前回調査」と、前回調査を実施した当該第三者委員会につき「前回第三者委員会」といいます。）、前回第三者委員会による前回調査に係る報告内容に基づき、再発防止策を策定のうえ、2021年9月2日付で東京証券取引所へ「改善報告書」を提出し、改善報告書の内容に基づき組織体制の強化や業務フローの改善などに取り組んでまいりました。

しかしながら、当社においては、2022年1月に新たに不適切な会計処理が発覚し、これについて、当社において、再度、前回第三者委員会とは別の第三者委員会を設置し、当該会計処理に係る調査を行ってまいりました。その調査結果については、2022年4月11日付「第三者委員会の調査報告書の公表について」（以下、当該日をもって公表いたしました第三者委員会調査について「今回調査」と、今回調査を実施した当該第三者委員会を「今回第三者委員会」といいます。）にて開示しておりますが、同報告書には、今回第三者委員会が調査を実施した上記の不適切な会計処理の事案等にかかる原因分析や、すでに上記前回第三者委員会による報告内容に基づき策定していた再発防止策に対して、その一部について更なる強化等を含む見直しなどの提言がなされております。

当社は、上記の今回第三者委員会による提言ならびに当社株式が特設注意市場銘柄に指定された理由（詳細は、2022年6月15日付「特設注意市場銘柄の指定に関するお知らせ」をご参照ください。）

をもとに、新たに、当社とはこれまで取引関係その他の利害関係を有していない外部専門家を起用して、客観的かつ合理的な助言等を受ける体制を構築したうえ、以下のスケジュールで改善計画を策定し、内部管理体制の再構築に取り組んでまいります。

なお、当社は、2022年8月9日開催の臨時株主総会において監査等委員会設置会社への移行ならびに役員体制の見直しを予定しておりますが（詳細は、2022年6月27日付「臨時株主総会開催日及び監査等委員会設置会社への移行に伴う定款一部変更など付議議案の決定に関するお知らせ」をご参照ください。）、改善計画の策定は、8月9日からの新体制において引き続き検討・協議を行い、着実にこれを実施してまいります。

実施内容		実施（予定）日
1	・外部専門家の起用、原因分析（第三者委員会の調査報告書をもとに、外部専門家も交えて、当社として改めて行う分析）	2022年7月1日（金）～2022年7月20日（水）
2	特設注意市場銘柄措置に基づく再発防止策の検討	2022年7月21日（木）～2022年8月9日（火）
3	監査等委員会設置会社への移行ならびに役員体制の変更（臨時株主総会開催）	2022年8月9日（火）
4	改善計画の策定及び改善計画書の東京証券取引所への提出、改善計画書の適時開示	2022年8月10日（水）～2022年9月16日（金）

## 2. 今後の見通し

当社は、上記1. の通り改善計画書の策定に取り組んでまいります。本開示内容及びスケジュールに変更等が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上